

amaze! in
YamazeN.

驚きは、山善の中にある。

2014年3月期 (第2四半期) 決算の概要



株式会社 **山善**

■ 連結損益計算書(第2四半期累計)

(単位:百万円)	2013年3月期 (第2四半期)	2014年3月期 (第2四半期)	増減率 %	公表計画 (期初)	計画 対比%
売上高	187,361	187,259	△ 0.1	190,000	98.6
売上総利益 (総利益率)	23,560 (12.57%)	23,902 (12.76%)	0.1 (0.2)	—	—
販売管理費	18,179	19,891	9.4	—	—
営業利益	5,380	4,011	△ 25.4	4,500	89.1
経常利益	5,641	4,238	△ 24.9	4,600	92.1
特別利益	3	19	633.3	—	—
特別損失	239	16	△ 93.3	—	—
当期純利益	3,364	2,648	△ 21.3	2,750	96.3

➤ 国内外の設備需要の回復遅れ、円安による原油高・物流費等の経費増で、減収減益。

■ 四半期推移(直近1年)

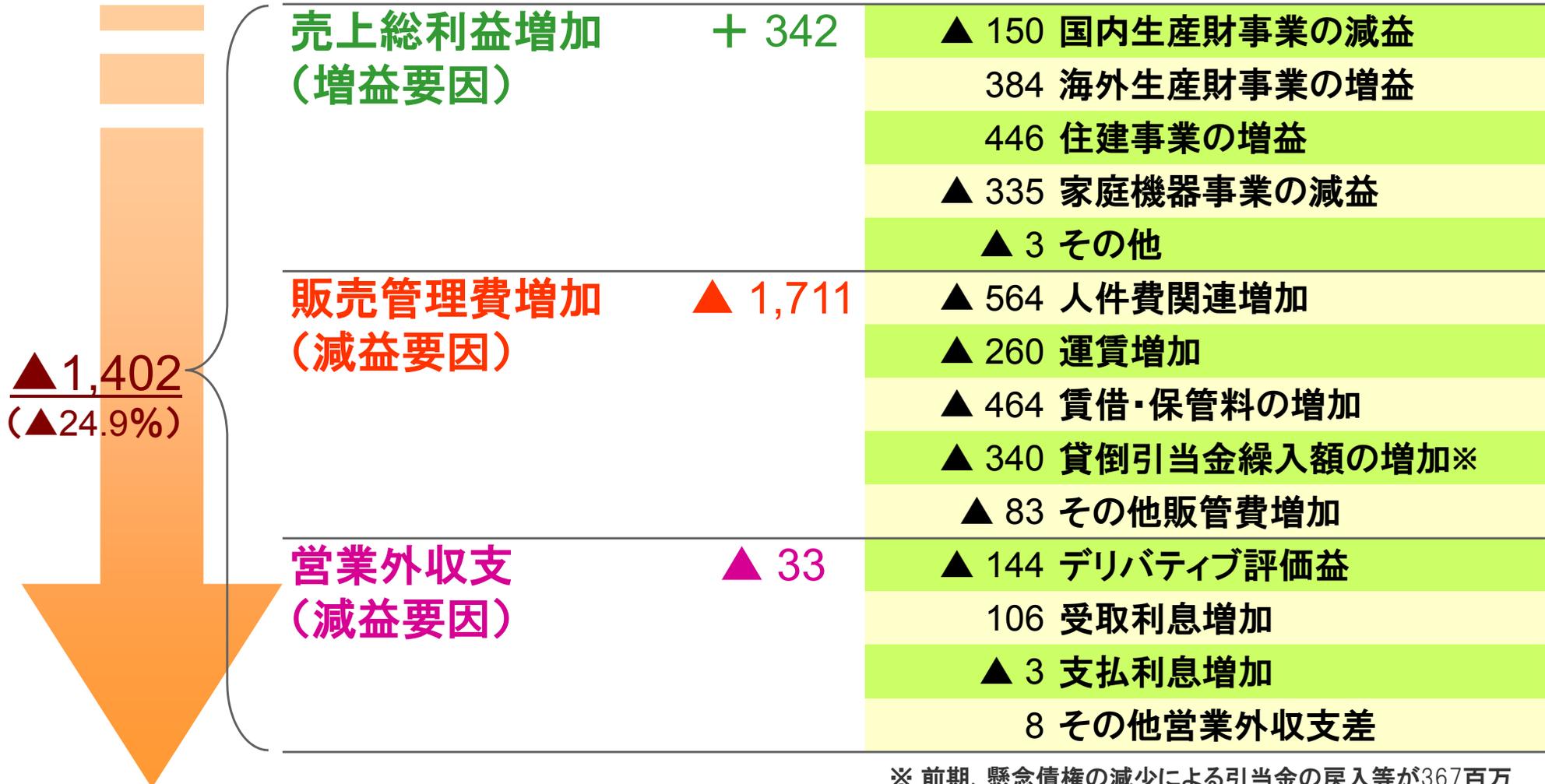
(単位:百万円)		3Q	4Q	1Q	2Q	四半期平均
売上高	直近1年	92,120	90,856	90,712	96,546	92,559
	同期比較	94,970	96,846	89,880	97,481	94,794
販売管理費	直近1年	9,958	9,136	10,018	9,873	9,747
	同期比較	9,286	9,643	9,174	9,005	9,277
営業利益	直近1年	1,915	2,460	1,437	2,573	2,096
	同期比較	2,881	2,270	2,357	3,022	2,633
経常利益	直近1年	2,094	2,615	1,664	2,573	2,237
	同期比較	3,085	2,494	2,540	3,100	2,805
当期純利益	直近1年	1,226	1,658	1,067	1,580	1,383
	同期比較	1,747	△123	1,564	1,799	1,703

5,641

2012年9月经常利益

(単位:百万円)

<内 訳>



▲1,402
(▲24.9%)

4,238

2013年9月经常利益

※ 前期、懸念債権の減少による引当金の戻入等が367百万円あり。今期の戻入実績27百万円との差額によるもの。

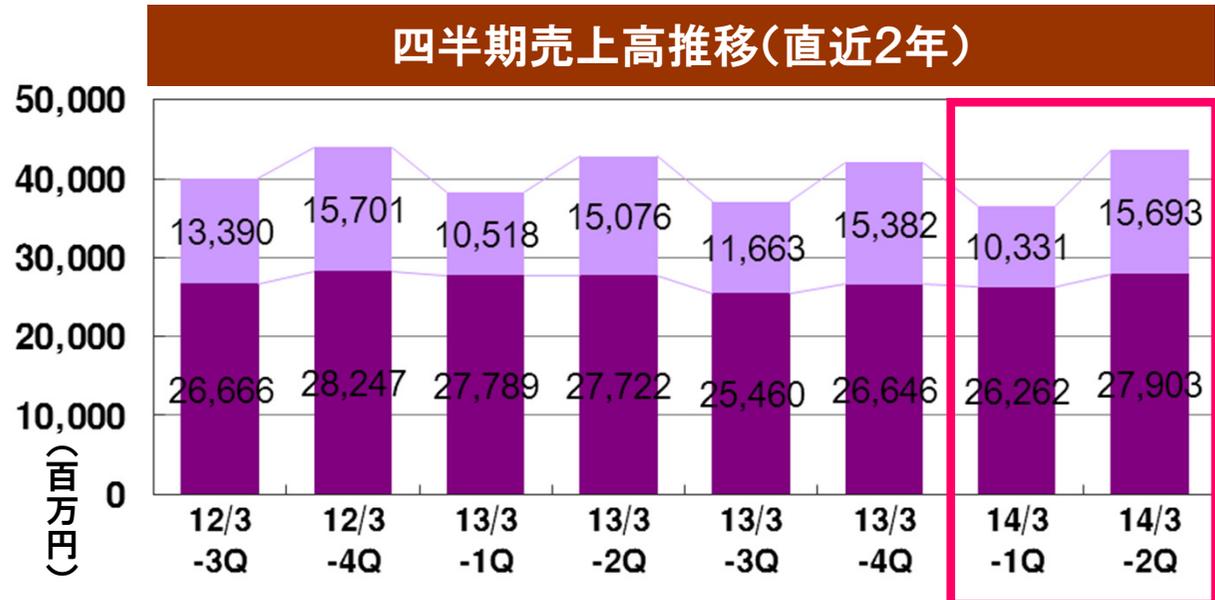
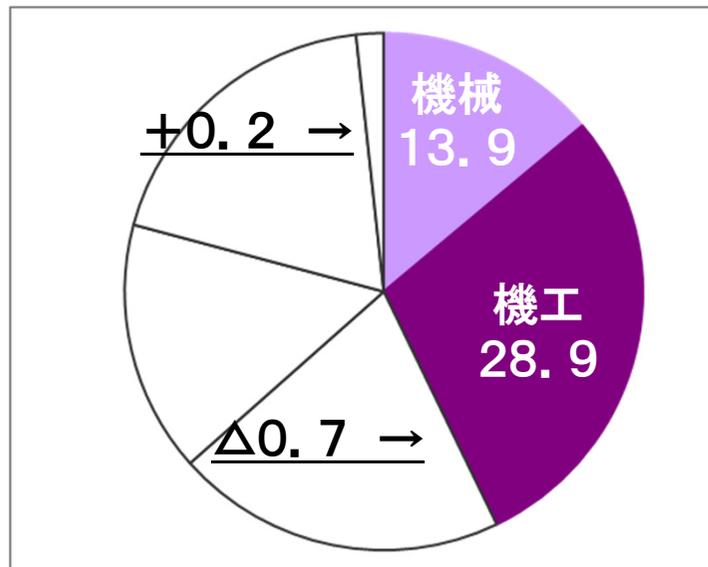
■ 事業別売上高／公表計画対比(第2四半期累計)

(単位:百万円、%)	2013年3月期 (第2四半期)	2014年3月期 (第2四半期)	前期比 増減率%	公表計画	計画 対比%
機 械 事 業 部	25,594	26,024	1.7	26,000	100.1
機 工 事 業 部	55,511	54,165	△ 2.4	56,500	95.9
(国内生産財小計)	81,106	80,190	△ 1.1	82,500	97.2
国 際 事 業 本 部	42,738	38,614	△ 9.6	40,000	96.5
(生産財関連計)	123,845	118,804	△ 4.0	122,500	97.0
住 建 事 業 部	24,867	29,447	18.4	27,500	107.1
家 庭 機 器 事 業 部	35,361	35,795	1.2	36,500	98.1
(消費財関連計)	60,229	65,243	8.3	64,000	101.9
そ の 他 部 門	3,287	3,211	△ 2.3	3,500	91.8
合 計	187,361	187,259	△ 0.1	190,000	98.6

(単位:百万円)			前年同期	2014年3月期(第2四半期)		
生 産 財	機 械 事 業 (国 内)	売 上 高	25,594	26,024	(増減率)	1.7%
		営 業 利 益	918	934	利益率	3.6%
	機 工 事 業 (国 内)	売 上 高	55,511	54,165	(増減率)	△2.4%
		営 業 利 益	1,354	1,098	利益率	2.0%



- ❑ 工作機械は、1Qをボトムに設備需要が上昇局面にあり、増収増益。
- ❑ 機工関連は、2Q以降で自動車関連や半導体製造装置の生産回復傾向も、実需要としての工作機器・消耗品類の拡大までには至らず、減収減益。



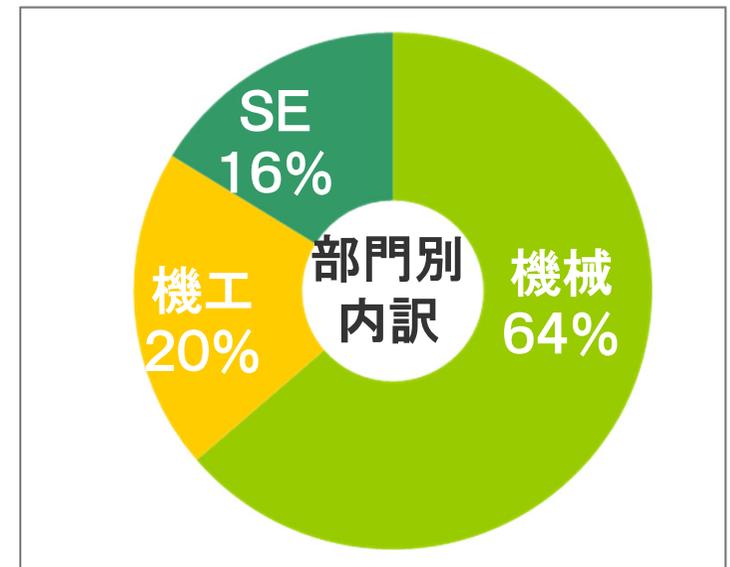
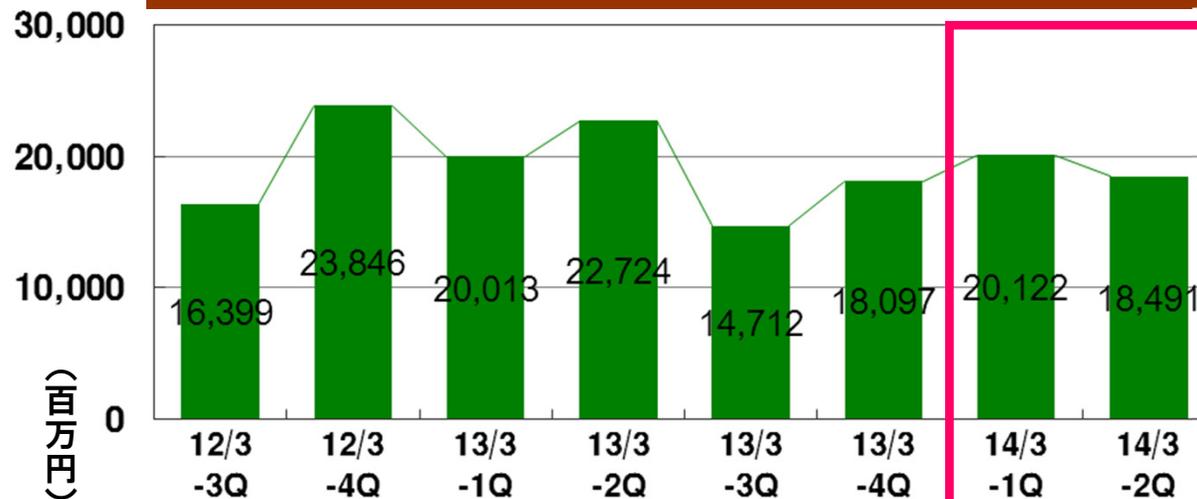
(単位:百万円)		前年同期	2014年3月期(第2四半期)	
生産財	国際事業売上高	42,738	38,614	(増減率) $\Delta 9.6\%$
	(海外)営業利益	2,170	1,592	利益率 4.1%



- ❑ 建設機械や自動車向けを中心に、USAや中国が底堅く推移した一方、タイやEMS向けの設備需要減で、工作機械は前年同期比87%と低調。
- ❑ 測定機器・切削工具を主体に、中国・タイ・インドネシア・欧米において機工関連商品が堅調に拡大(前年同期比117%)。



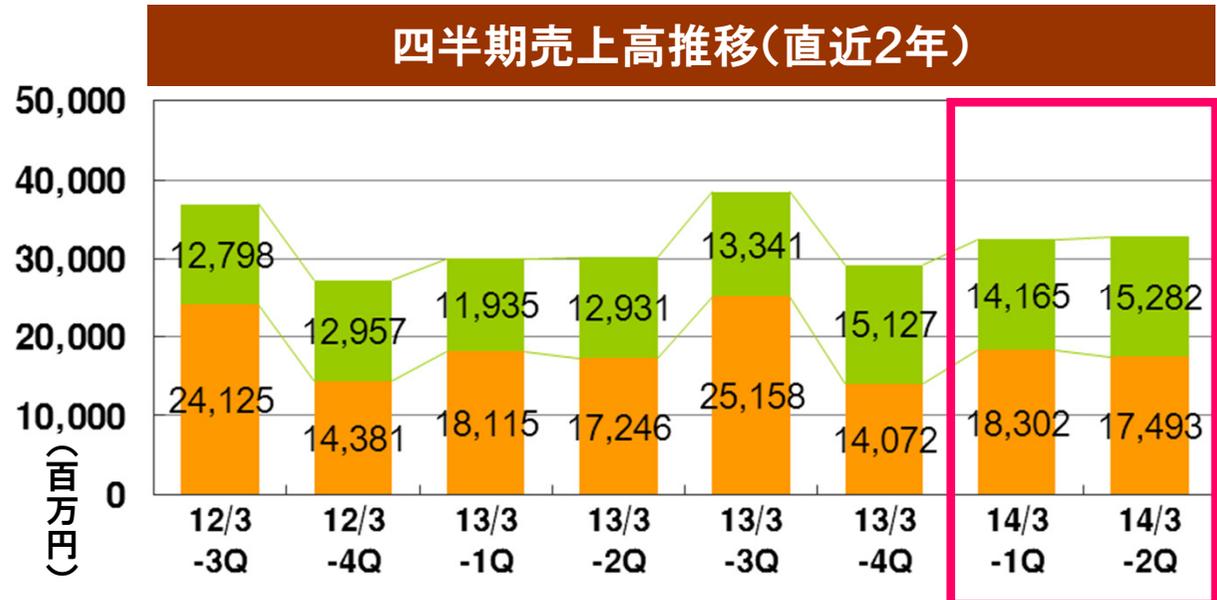
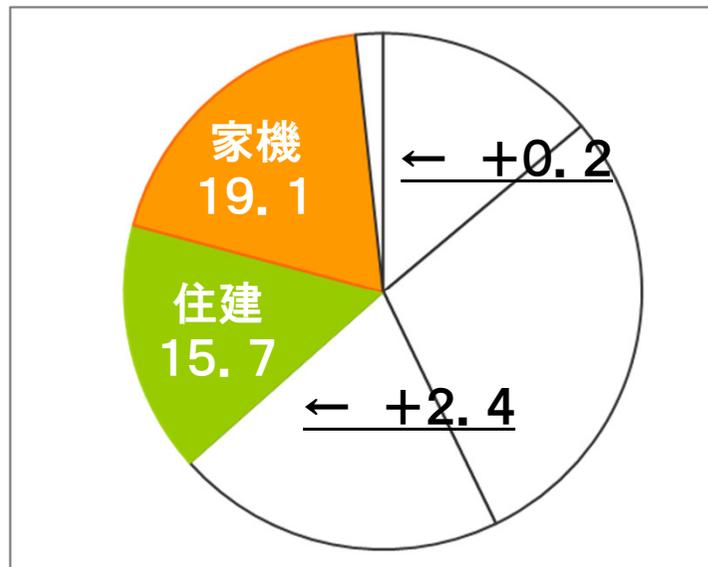
四半期売上高推移(直近2年)



(単位:百万円)			前年同期	2014年3月期(第2四半期)		
消費財	住建事業 (国内)	売上高	24,867	29,447	(増減率)	18.4%
		営業利益	566	828	利益率	2.8%
	家庭機器事業 (国内)	売上高	35,361	35,795	(増減率)	1.2%
		営業利益	1,339	489	利益率	1.4%



- ❑ **住建**は、好調な新設住宅着工を背景に、水回り商品が伸長。堅調な太陽光発電(産業用)に加え、猛暑による空調機器の需要増も加わり、増収増益。
- ❑ **家庭機器**は、円安・原油高等による粗利益率低下と経費増で減益。

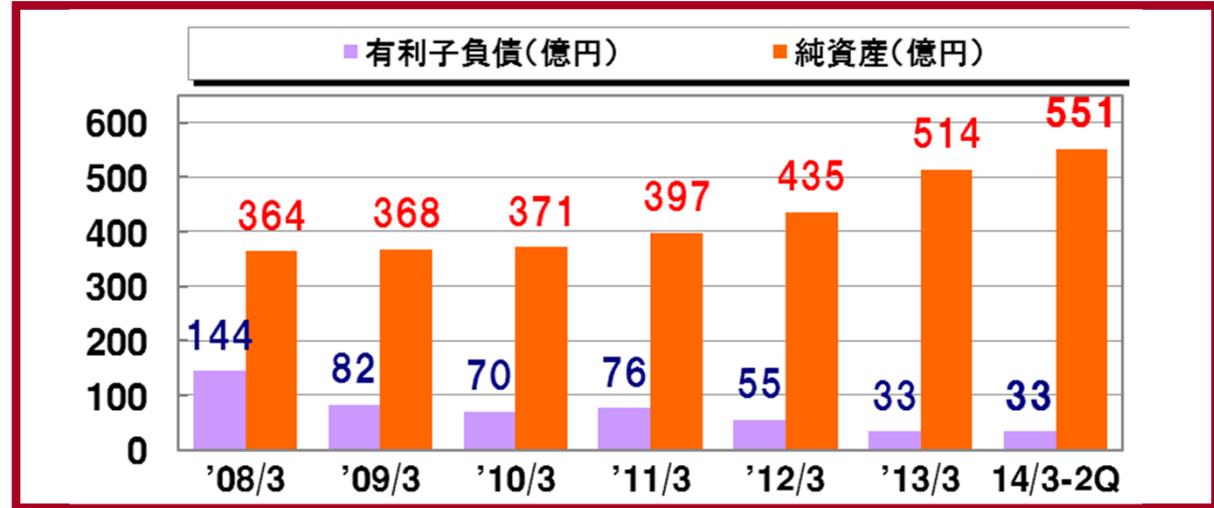


貸借対照表

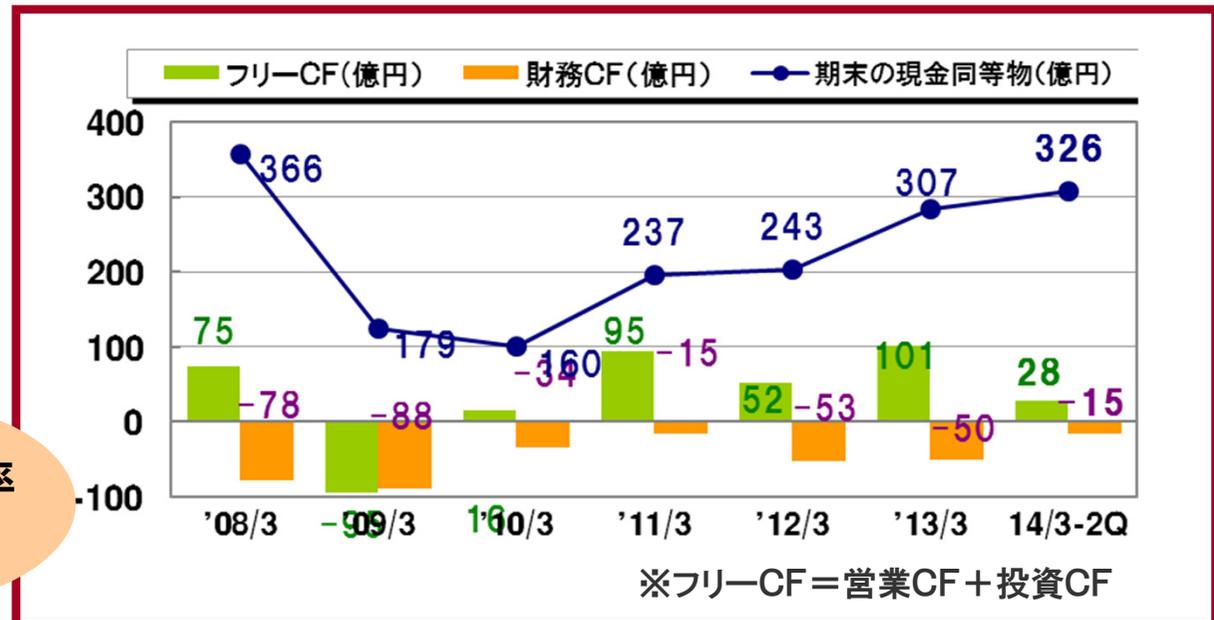
資産	負債・資本
流動資産 1,363 (Δ26)	流動負債 1,024 (Δ43)
	固定負債25(+5)
固定資産 236(+25)	純資産 551 (+36)
総資産 1,600(Δ1)	自己資本比率 34.4%

(2013年9月末現在/単位:億円)

有利子負債／純資産推移



キャッシュフロー推移





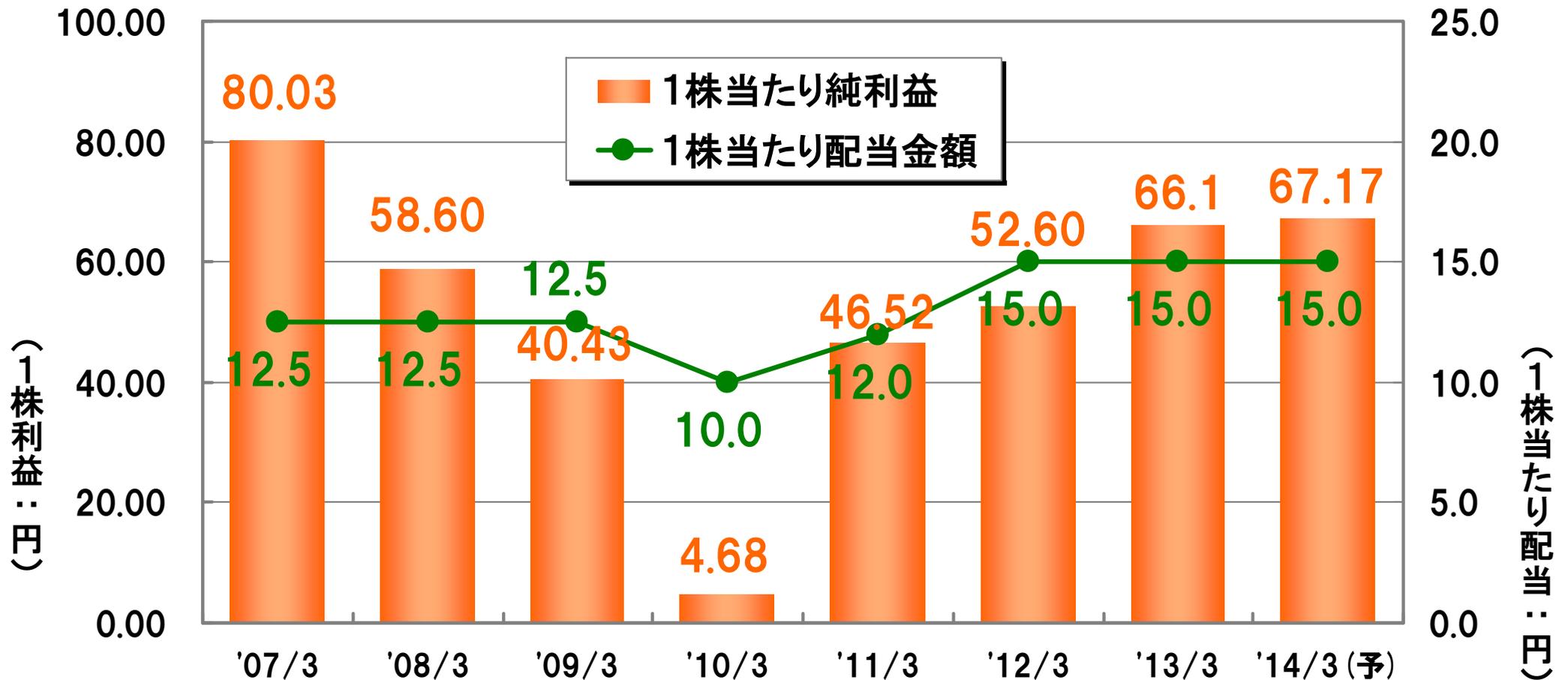
設備投資や住宅投資の増加を背景に、(通期)従来計画を堅持。

(単位:百万円)	2013年3月期(第67期)		2014年3月期(第68期)			
	2Q実績	通期実績	2Q実績	増減率%	通期計画	増減率%
売上高	187,361	370,338	187,259	△0.1	385,000	4.0
< 単体 >	170,583	337,161	169,302	△0.8	350,000	3.8
営業利益	5,380	9,756	4,011	△25.4	10,000	2.5
< 単体 >	3,597	7,080	2,968	△17.5	7,500	5.9
経常利益	5,641	10,351	4,238	△24.9	10,500	1.4
< 単体 >	3,896	7,585	3,124	△19.8	8,000	5.5
当期純利益	3,364	6,249	2,648	△21.3	6,300	0.8
< 単体 >	2,149	4,270	1,894	△11.9	4,500	5.4

※US\$: 1-2Q=98.86円、3-4Q=99円想定

(単位:百万円)			2013年3月期	2014年3月期計画			増減率
生	機械事業 (国内)	売上高	52,640	54,000	構成比%	14.0	2.6
		営業利益	1,926	2,100	利益率%	3.9	9.0
産	機工事業 (国内)	売上高	107,618	113,000	構成比%	29.4	5.0
		営業利益	2,519	2,900	利益率%	2.6	15.1
財	国際事業 (海外)	売上高	75,548	76,000	構成比%	19.7	0.6
		営業利益	3,488	3,100	利益率%	4.1	△11.1
消	住建事業	売上高	53,337	60,000	構成比%	15.6	12.5
		営業利益	1,493	1,800	利益率%	3.0	20.5
費	家庭機器事業	売上高	74,592	75,000	構成比%	19.5	0.5
		営業利益	2,130	1,600	利益率%	2.1	△24.9
財	その他・調整 全社費	売上高	6,600	7,000	構成比%	1.8	6.0
		営業利益	△1,800	△1,500	利益率%	—	—
合	計	売上高	370,338	385,000	構成比%	100.0	4.0
		営業利益	9,756	10,000	利益率%	2.6	2.5

- 連結配当性向: 22.3%を予定。(期初より変更なし)
- 配当金額: 中間7.0円+期末8.0円=年間15.0円。(期初より変更なし)





この資料には、当社の計画及び業績見通し等が含まれております。将来の計画や予想数値などは、現状の入手可能な情報により、計画・予測したものであります。実際の業績等は、今後の様々な条件・要素によりこの計画等とは異なる場合があります、この資料はその実現を確約したり、保証するものではありません。